

### ミライノラボのSDGsへの取り組み

- 4** 大学生とともに地方の現場に入り、課題解決を行う実践的教育を行っています。
- 11** ミライノラボが考える地方創生とは、「持続可能なまちづくり」です。
- 17** 地方の課題に対し、行政・大学・企業が協力するパートナーシップを構築します。



### 会社概要

社名	株式会社ミライノラボ   Mirainolab Inc.
本社	〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号 (千葉大学西千葉キャンパス内)
設立	2018年4月18日
資本金	1,000,000円
役員	代表取締役 田島翔太 取締役 阿部厚司 監査役 清田浩義
事業内容	(1)実践型コンサルティング事業 (2)産学連携マッチング事業 (3)地方創生・地域活性化に関する事業 (4)地方創生・地域活性化に資する旅行業(予定) (5)前各号に付帯関連する一切の事業

### COC+とミライノラボ



ミライノラボ創設のきっかけは、千葉大学が2015年に採択された文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(通称COC+)」です。国の地方創生事業の一環であるCOC+は、大学が地方公共団体や地元企業と協働し、学生にとって魅力のある地域社会をつくるものです。千葉大学では、千葉地方圏の産業振興、雇用創出、若者定着に取り組んできました。ミライノラボはこのCOC+の先にある「持続可能な地域社会(ローカルSDGs)の実現」に向け、COC+終了後の継続的な地域社会との連携を目的として立ち上げられました。

### 代表者



株式会社ミライノラボ  
代表取締役CEO  
**田島 翔太**  
Shota Tajima



株式会社ミライノラボ  
取締役COO  
**阿部 厚司**  
Atsushi Abe

### 学生研究員

ミライノラボでは、学部、学科、学年を問わず、地域課題解決に取り組みたい「学生研究員」を毎年募集しています。常時、約30名の学生研究員が在籍し、在学中に地域課題や社会問題と向き合います。地域で実践的な学びを得ながら、プロジェクトに応じて有償で活動します。若者の視点を活かした地域活動や調査研究に携わってみませんか。興味のある方はぜひ一度お問い合わせください。



大学の研究成果を、地域社会に還元する。



### 株式会社ミライノラボ

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学 西千葉キャンパス 楓ホール 1F  
E-mail : info@mirainolab.co.jp URL : https://www.mirainolab.co.jp



# Top Message

ミライノラボの思いをお伝えします。

## 人口減少社会における持続可能な地域を、若者と一緒に創造します。

いま、日本社会は少子高齢化と人口減少の到来により、大きな岐路に立たされています。日本全体では、高齢者1人を2.5人の若者で支える構図です。ところが20年後には、高齢者1人を1.2人の若者で支えなければならない社会がやってきます。地方では、もっと深刻な問題になるでしょう。

そのような背景のなかでミライノラボが目指す未来は、「人口減少社会における持続可能な地域を若者と一緒に創造すること」です。長期的な少子高齢化や人口減少の波を今すぐ食い止めることは難しいでしょう。だからこそ、そのなかで地域社会がどう存続すべきかを、若者と一緒に考えていかねばならないのです。



私たちは、大学生を中心とした若者世代に強い期待を抱いています。今までの教育では、若者が地方公共団体や地元企業と協働し、地域活性化に貢献する機会は限られていました。しかし、今後の持続的な地域社会のあり方を考えると、若者をはじめとした多様な人々が地域に関わる「余白」が必要です。

ミライノラボは、千葉大学で地方の活性化に携わってきたメンバーが立ち上げた研究成果活用型ベンチャーです。大学生を中心とした若者によるまちづくりを特徴としています。若者が参加できる「余白」を地域につくり、活動を支援します。その活動が継続されていくことで、地域のさまざまな課題解決に長期的な目線で貢献したいと願っています。

今後とも、皆さまのご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社ミライノラボ  
代表取締役CEO

田島 翔太



千葉大学のほか、千葉県内の大学で、人口減少時代の持続可能なまちづくりについて講義しています。



自治体の依頼を受け、千葉大学の学生が中心となって町の特産品開発をおこなっています。



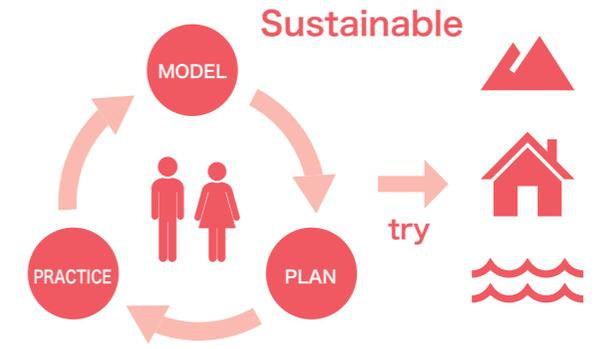
地域づくりに励む地元企業との共同研究で、若者と一緒にワークショップ形式で課題解決を考えています。

会社のコンセプトをまとめました。

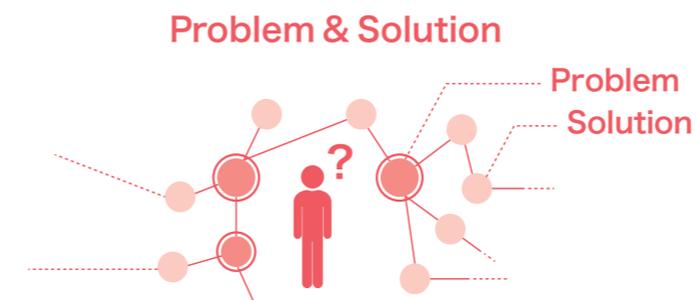
# Concept

## 若者と一緒に地域の未来を考え、地域社会が抱える課題解決に挑みます。

人口減少のなかで地域のあるべき姿を考え、若者と一緒に課題解決のための方策を企画し、実践します。若者が地域に入り、地域の特色を活かした課題解決の糸口を探ることで、より地域に根付いた取組みが可能です。私たちは、若者と一緒に地域に入り、課題に取り組む、実践型コンサルタントです。

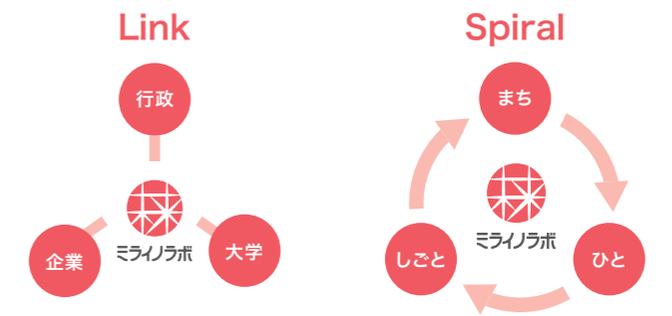


## 持続可能な地域社会の実現には若者の参加が不可欠です。



少子高齢化と人口減少に直面する日本。地方には、空き家の増加、生活関連サービスの撤退、行政サービスの低下、公共交通の縮小、地域コミュニティの衰退など、さまざまな影響が出ています。若者が地方に戻ることによって、その影響を最小限にとどめ、持続可能な社会を実現しなくてはなりません。

## 産・官・学の連携を強化し、まち・ひと・しごとの好循環を生み出します。



近年、地域活性化のために、企業、自治体、大学の連携が強化されています。ところが、地域が求めるもの(ニーズ)と、教育・研究機関として大学が保有する技術やノウハウ(シーズ)が適合しないこともありました。そこで、より地域ニーズに寄り添った小回りの効く組織としてミライノラボを設立しました。

## Service & Activity | 地域社会に若者が参加できる「余白」をつくり、若者と

ともに地域課題に取り組んでいます。

### 調査・計画策定

自治体や地域団体の計画に基づいて、計画書の策定支援をおこないます。アンケート調査や市場調査などをもとに、地域の意向を汲み取りながら、将来のあるべき姿を考え、計画書を策定します。

#### 具体的な事例

#### 千葉県鴨川市 | スポーツコミッション創設・運営支援

総合運動施設をはじめとした市保有のスポーツ施設を有効活用し、スポーツでまちを元気にする取組みとして、鴨川市版スポーツコミッション「ウェルネススポーツ鴨川」が創設されました。ミライノラボでは共同事業体を組織し、計画策定支援をおこないました。

資料収集整理 / ヒアリング調査 / 先進事例調査 / 認知度調査 / 地域振興方策の検討や課題の洗い出し / 委員会、プロジェクトチーム運営 / シンポジウムの企画、運営 / 現状と課題の整理 / 計画書の策定 / 合意形成 (パブリックコメント) のための資料制作 / 組織設立手続き / 広報物等の制作 / 報告書の作成

#### 千葉県市原市 | 商店会の活性化実践事業

牛久商店会では近年、事業継承が始まり、若手の方々を中心に商店街の活性化に取り組んでいます。人口減少や後継者不足などに対して、具体的な計画を進め、地域全体が持続的に発展するよう支援しています。

地域住民ニーズ調査 / 観光ニーズ調査 / 商店経営実態意識調査 / 短期、中期、計画策定



### 商品開発・事業開発

地域資源を生かし、柔軟な発想で地域産品や新事業開発を支援します。コンセプトの開発からデザイン業務、プロモーション企画まで一貫して引き受けることも可能です。

#### 具体的な事例

#### 千葉県長柄町 | 地元企業と連携した特産品開発

町の知名度を上げたいという自治体の悩みに対して、第一弾として学生による企画・執筆を特徴とした長柄町移住定住ガイドブックの制作をおこなしました。第二弾として、地元企業3社を巻き込みながら、千葉大学の学生が企画・考案し、デザインした特産飲料を開発しています。

コンセプト開発 / ネーミング開発 / パッケージデザイン / マーケティング戦略 / プレゼンテーション

#### 首都圏 | アンテナショップでの試験販売

千葉県と協力し、東京駅のKITTEや成田空港など、学生が企画・デザインした地域産品の試験販売を実施しています。学生が地方で学び、企画した商品を直に消費者に届ける貴重な機会となっています。

商品販売 / 試験販売



### 地域資源発掘

学生が地域に入り、若者、よそ者の視点で地域に眠っている資源を発掘します。若者の柔軟な発想で、それらの地域資源を活かした地域課題解決を考案します。

#### 具体的な事例

#### 千葉県南房総市 | 神社仏閣、万祝を活用したインバウンド観光

市内にある歴史的建造物や保存されている仏像などの3Dデータを取得し、3Dプリンターでフィギアやアクセサリを制作しています。また、大漁の際に配られた祝い着である、万祝の柄を用いた箸入れや手帳ケースなどを制作しています。都内のアンテナショップでの販売やふるさと納税の返礼品として活用し、地域の伝統、生活文化の普及と伝承をおこなっています。

伝統・文化の保存 / 3Dデータ / アクセサリー制作 / ふるさと納税返礼品

#### 千葉県千葉市・長柄町・他 | 課題解決ワークショップ授業

千葉大学の普遍教育科目として、学生と地域住民がともに学ぶアクティブ・ラーニング形式の授業を展開しています。長柄町では、地域資源を活用した町のブランディングについて探求する合宿型の授業を毎年開催しています。

地域のブランディング / アクティブ・ラーニング / 千葉大学連携



### 地域間連携

単一の地域では実現不可能なことも、複数の地域をつなぎ合わせることで可能になります。地域間連携は今後、大きな課題になると考えています。

#### 具体的な事例

#### 房総半島全域 | サイクルツーリズム

環境にやさしく健康増進にもつながり、来訪客の増加が期待されるサイクルツーリズムが各地で盛んになっています。ミライノラボでは学生によるサイクルマップの作成の他、サイクルラックの設置、サイクルステーション整備、サイクルイベント運営などの支援業務を行っています。若者の発想による行政界を超えた広域連携を提案します。

サイクルマップ制作 / サイクルイベントの企画、運営 / サイクルステーション設置支援

#### 千葉県千葉市・いすみ市・他 | ちば共創都市圏構想

千葉市と、その背後にある地方圏も含めた圏域全体で人口の維持・増加を図り、圏域内の資源を活用しあう「ちば共創都市圏構想」。この構想に基づき、千葉大学のローカル・プロジェクト実習として、千葉市幕張地区といすみ市の連携を図るアフターMICE事業の提案をおこなっています。

都市と地方の連携 / MICE関連事業



## Service & Activity | 地域社会に若者が参加できる「余白」をつくり、若者と

ともに地域課題に取り組んでいます。

### 産官学連携

千葉大学産学連携ステーションと協働し、企業と千葉大学が連携するためのコンセプトづくりを支援します。また、産官学のコラボレーションの実現や、企業や自治体の要望に基づく課題解決支援をおこないます。

#### 具体的な事例

#### 千葉県長柄町 | 大学連携型生涯活躍のまちの開発

都会のアクティブ・シニアが地方に移住し、健康でアクティブに暮らす「生涯活躍のまち(日本版CCRC)」。

千葉大学、長柄町、リソル生命の森様が連携した「長柄町版大学連携型生涯活躍のまち」は、健康スポーツ施設であるリソル生命の森を核として、本格的な継続介護型アクティブ・リタイアメント・コミュニティの構築を目指しています。ミライノラボが産官学をつなぐ連携役となり、移住定住施策や民間事業の推進に協力しています。

[地方創生 / 生涯活躍のまち / CCRC / 計画推進 / 移住定住推進](#)

#### 千葉県松戸市 | サンプスギを活用した地産地消の家づくり

松戸市にある材木店の株式会社大功様との共同研究として、千葉県産材(サンプスギ)を用いた地産地消の家づくりに取り組んでいます。森林資源の活用だけでなく、地域の経済循環によって持続可能な地域社会の実現を目指しています。

[産官学連携の促進 / 商品開発チームへの参加 / ネーミング開発 / 商品ロゴ開発](#)



### 地域インターンシップ

学生を自治体や企業に派遣し、研修を通じて、地域社会の課題や可能性を学びます。地方での活動機会の少ない学生にとって、実社会との繋がりが得られる貴重な機会となります。

#### 具体的な事例

#### 千葉県内 | SDGs体験プログラム

千葉大学のインターンシップ科目として、SDGsを用いた小学生向けの体験学習プログラムの企画・開発をおこなっています。小学生やその家族の学びを深めるだけでなく、地域住民にとって永く愛される地域資源の伝え方を考えながら、オリジナルの体験プログラムを考案しています。

[体験プログラムの企画・開発](#)

#### 千葉県市原市 | 養蜂による里山再生

ワンドロップファーム様では、はちみつと有機野菜の生産のほか、養蜂体験や農場研修も実施しています。千葉大学の学生がローカル・プロジェクト実習として研修に入り、耕作放棄地の再生に取り組む企業の役割や、サイクルツーリズムをはじめた新たな観光事業の提案をおこなっています。

[里山再生 / 観光事業提案](#)



### ローカルSDGs

2030年までに達成すべき国際目標「SDGs(持続可能な発展目標)」に向けて、SDGsの普及啓発活動やSDGsの地域社会への実装に取り組んでいます。

#### 具体的な事例

#### 千葉県千葉市・四街道市 | SDGsセミナーの開催

地域社会とSDGsを結びつけるローカルSDGsの確立と浸透を目指しています。そこで、事業者向けの「SDGsセミナー(基礎編、応用編)」のほか、市民活動支援組織の要請により住民向けのセミナーもおこなっています。また、企業向けにはSDGsへの取り組みをまとめたインタビュー記事や、企業CSRと連携したSDGsポートフォリオの作成をおこないます。

[セミナーの開催 / インタビュー記事制作 / SDGsポートフォリオ制作](#)

#### 千葉県長柄町 | 次期基本構想・基本計画策定支援

今後、自治体の計画にもSDGsの主流化が求められます。そこで長柄町では若手職員を対象にSDGsの推進チームをつくり、行政とSDGsの結びつきについて学んでいます。また、その成果を基本構想・基本計画の策定に活かすこととしています。

[職員研修 / 基本構想・基本計画策定支援](#)



### 研究開発

ミライノラボの活動で得た知見をもとに、大学の研究や地域社会の課題解決に独自事業として取り組んでいます。

#### 具体的な事例

#### 千葉大学 | WACo共創プラットフォームへの参画

文部科学省による産学共創オープンプラットフォーム共同研究推進プログラム(OPERA)の一つで、千葉大学が推進する「WACo(Well Active Community)」に参画しています。これは、ゼロ次予防戦略に基づき、健康(Well)で活動的な(Active)コミュニティデザインとそのための技術開発をおこなうものです。長柄町やリソル生命の森でのCCRCの知見を活かしながら、健康まちづくり事業の展開に貢献していきます。

[産学連携 / 共同研究](#)

#### 東京都世田谷区・墨田区・長柄町・他 | 空き家活用研究

空き家の流動には社会的な課題解決だけでなく、経済的な利益も必要です。世田谷区の空き家を活用し、学生が自らのアイデアで社会的・経済的価値を生み出す空き家活用に挑戦しています。そのほか、墨田区の空き家活用や、長柄町をはじめとした地方部の空き家活用について検討を重ねています。

[空き家活用](#)

